

ケンコーマヨネーズ 「国連食料システムサミット 2021」への支持表明 およびコミットメント提出のお知らせ

発信番号:21-18

ケンコーマヨネーズ株式会社(東京本社:東京都杉並区 代表取締役社長:炭井 孝志)は、2021年9月にニューヨークにて開催される「国連食料システムサミット(Food Systems Summit:FSS)」(以下、FSS)への支持を表明し、コミットメントを提出しました。

FSSとは、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成のためには持続可能な食料システムへの転換が必要不可欠だという、グテーレス国連事務総長の考えに基づき開催される国連主催のサミットです。2021年7月にローマでプレサミットが、2021年9月にニューヨークでサミットが開催される予定です。同サミットは、食料システムの視点で捉えて、その持続性の確保を世界的な共通の課題として議論し、今後のあるべき姿を示そうとする各国ハイレベルによる初めての国際会議となります。



FSSでは、食料システムの課題として下記の5つのテーマが設定され、それぞれの課題をどのように解決していくべきかについて、議論が行われます。

1. 質(栄養)・量(供給)両面にわたる食料安全保障
2. 食料消費の持続可能性
3. 環境に調和した農林水産業の推進
4. 農山漁村地域の収入確保
5. 食料システムの強靱化

日本においてもFSSの趣旨に賛同した民間企業が実施していく取り組みをコミットメントとして提出し、政府が取りまとめて国連に提出する予定です。当社グループは、コミットメントに則した活動を展開し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

当社グループのサステナビリティ方針は、ホームページにて公開しております。(ホームページは[こちら](#))

■当社のコミットメント

ケンコーマヨネーズ株式会社は、全ての持続可能な開発目標の達成に向け、持続可能な食料システムへの変革のための具体的な行動を推進するために開催されるFSSへの支持を表明します。

当社グループは、持続的な食料システム、特に「食料消費の持続可能性」と「環境に調和した農林水産業の推進」の実現に貢献するため、食品ロス・食品廃棄物の削減や温室効果ガス排出量の削減に取り組み、食を通じて人々の健康・幸せ作りに寄与すると共に、持続可能な社会の実現に貢献します。

【具体的な取組・目標】

①「食料消費の持続可能性」の実現のために

- ・2030年までに食品ロス・食品廃棄物の15%削減を目指します。(2019年度対比 原単位)
- ・アップサイクル商品の開発を推進します。



②「環境に調和した農林水産業の推進」の実現のために

- ・2030年までに温室効果ガス排出量の50%削減を目指します。(2019年度対比 原単位)
- ・環境に配慮した資材を選択し、プラスチック使用量の削減を推進します。

